

## 1. インターバンク市場

11/2~6の無担O/N物は、0.075~0.077%の出会いを中心に推移した。加重平均レートは0.075%前後での推移となったが、4日は一部業態から0.125%での試し取りが実施された影響で加重平均レートが0.085%まで上昇した。一方、GCレボなどの動向を受け、コールでの資金運用ニーズが高まる場面もあり、T/N・S/Nの出来が若干多く見られた。ターム物は、大手行から1~2Wのまとまった調達が見られた。固定金利方式の共通担保資金供給オペは5日に3M・8,000億円でおファーされ、落札額1,683億円(期落ち額2,381億円)となった。

11/9~13のインターバンク市場は、短国・国債の発行要因で大幅なマイナスとなる日が見られるものの、特段レートに変動は無いとみられる。なお、13日は実質的な積みの最終日となる。

## 2. オープン市場

11/2~6の短国市場は、需給軟化見通しから3M物は0%近辺への目線上昇が期待されたが、玉確保姿勢の強まりや海外勢の旺盛な買いが見られたことで、引続きマイナス圏で推移する展開となった。金融政策決定会合と重なった為に見送られた短国買入オペが2日に実施され、前回比7,500億円減額の7,500億円でおファーされた。減額が予想されていたこともあり、特段の混乱も無く、平均利回較差+0.005%、按分利回較差+0.000%に落ち着いた。概ね事前予想通りの結果となったものの、応札額が15,072億円と少なかったこともあり、あらためて需給の好転が意識される結果であった。短国の入札は5日に3M物、6日に6M物が実施された。3M物は、WI取引で▲0.006%での出会いが見られたこともあり、平均落札利回▲0.0055%、按分落札利回▲0.0037%と事前予想よりやや強い結果となった。その後は、新発債は調整売りから小甘くなった。一方で、既発債は引続き強含む展開となった。6M物の入札は、平均落札利回▲0.0394%、按分落札利回▲0.0315%と短国買入オペ期待の買いからか、6M物としては平均・按分共に過去最低を更新した。

11/2~6のCP市場は、週間の発行総額は3,000億円程度となり、償還総額の6,000億円弱を下回って低調なマーケットとなった。発行量が少ない中、発行レートは、引続き低位で推移した。a-1格以上の銘柄で0.07~0.09%の約定が中心となる中、発行頻度の低い銘柄では0.06%台での約定が観測されるなど、買い意欲の強さが散見された。5日にはCP等買入オペが、前回比500億円減額の3,500億円でおファーされた。足元の発行量の伸び悩みに加えて応札可能銘柄の少なさも、応札額は6,081億円と低水準であった。しかし、一定のオペ売却ニーズもあったことで、按分レートは前回横ばいの0.065%、平均落札レートは0.071%と、前回の0.073%から小幅低下にとどまった。

11/9~13の短国市場は、12日に3M物の入札が実施予定となっている。9日と13日には短国買入オペが予想される。CP市場は、月半ばに差し掛かることで、発行量の増加が期待される。発行レートに関しては、投資家の買いニーズ継続に加え、ディーラーのポジションが軽いと見られることから、上昇は限定的になると考えられる。

## 3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で1,200億円程度の還収超見通し。財政等要因は、9日の10Y発行、10日のTB6M発行超過、12日の源泉税揚げや10Y物価連動発行等があり、4兆8,100億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で4兆6,900億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。<9日>TB3M;償還48,300億円・発行48,000億円 / 10Y;発行24,000億円<10日>TB6M;償還15,900億円・発行35,000億円<12日>10Y物価連動;発行5,000億円 / 交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円

2015年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オ ペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
11/9 (月)	1,200	△ 28,100	△ 26,900	全店共通(国) CP買入	△ 2,400 △ 200	1,700	△ 900	△ 27,800
11/10 (火)	1,000	△ 19,000	△ 18,000	国債買入 CP買入		4,700 3,500	8,200	△ 9,800
11/11 (水)	0	△ 1,000	△ 1,000				0	△ 1,000
11/12 (木)	0	△ 3,000	△ 3,000				0	△ 3,000
11/13 (金)	△ 1,000	3,000	2,000				0	2,000
週間合計	1,200	△ 48,100	△ 46,900		△ 2,600	9,900	7,300	△ 39,600

(注) 上表の11/9は日銀予想、11/10以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
11/9 (月)	10月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 9月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 10:30)		10月のFRB 労働市場情勢指数
11/10 (火)	9月の国際収支(財務省所管・日銀作成 8:50) 9月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30) 10月の景気ウォッチャー調査(内閣府 14:00)	10Y物価連動 5,000億円 11/12発行	9月の米卸売売上高
11/11 (水)	栃木県金融経済懇談会にて原田審議委員講演 10月のマネーストック(日銀 8:50)	エネルギー対策借入 5,000億円 11/20借入	米国休日(Veterans Day)
11/12 (木)	9月の機械受注統計(内閣府 8:50) 10月の企業物価指数(日銀 8:50)	TB3M 48,000億円 11/16発行	30Y 8,000億円 11/16発行
11/13 (金)	9月のマネタリーサーベイ(日銀 8:50) 9月の第3次産業活動指数(経済産業省 8:50) 9月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	国有林野事業借入 598億円 11/25借入	9月の米企業在庫 10月の米生産者物価指数 10月の米小売売上高 11月のミシガン大消費者信頼感指数速報 7-9月期のユーロ圏GDP速報値

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入